

令和3・4年度 第1回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和3年10月18日(月)	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐)副会長：×大和田優 担 当 理 事：○和田敏宏 委 員：○千賀浩一 ×堀池恒史 ○赤川真理 ×小林匠 ×相馬立夫 ×山中信悟 ×高野淳一 ○内田幸夫 事 務 局：○磯部崇 ○小林恵美		

○山口副会長より挨拶

○自己紹介

○議事録について
(今回担当：事務局 小林)

議題

1. 正副委員長の互選

委員長：山口副会長より打診する事となった。

(後日追記)→打診の結果、山中委員長に決まった。(委員にはメールで報告)

副委員長：和田理事に決まった。

他若干名は次回委員会で選任する事となった。

2. 今年度(今後)の活動について各自意見

- ・元伝統工法部会員が多い為、伝統工法に偏りがちだが、大型耐火木造も進めていかなくてはならない。
- ・以前やっていた、『今さら聞けないシリーズ』を復活させても面白いのではないかな。
- ・木造全般やるべき、木造委員会の使命だと思う。
- ・委員会内で部会別に活動していくのか等は今後検討していくが、伝統工法・耐火木造にこだわらず、やれるものからはどんどんやっていくべき。

⇒大型耐火木造系を主に新たな委員の募集をかける事となった。

3. 本禅寺本堂改修工事見学会について

- 1) 開催日時：令和3年12月11日(土) 15:00～ (時間については内田委員確認後決定)
- 2) 場所：厚木市飯山3515番地 本禅寺本堂
- 3) 説明者：株式会社文化財保存計画協会(設計者)・有限会社内田工務店 内田委員(施工者)
- 4) 予算等：本禅寺及び説明者への御礼を内田委員が確認後会費等を決め、変更企画書を事務局で作成し、総財務委員長へ提出する。
- 5) 開催案内：内田委員がたたき台を作成しメーリングリストにて委員へ送付し・加筆修正し作成する事となった。間に合えば11月号会報に同封する。
- 6) 撮影について：写真撮影は可能。(私的利用のみ)
当日動画を撮影し、後日説明を入れwebで流す等を検討していきたい事から、動画撮影が可能か、内田委員が確認する事となった。

4. 今後の委員会開催について

2ヶ月に1度、定期的開催する事となった。

次回開催日については、メーリングリストのテストをかねて、11月29日(月)か11月30日(火)で調整する事となった。

以上

令和3・4年度 第2回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和3年11月29日（月）	会 場	Web 会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：×大和田優 委員長：×山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：×千賀浩一 ×堀池恒史 ×赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		
○山口副会長より挨拶 山中委員長が選任された事について、全委員にメールで報告・了承済みだが、改めて報告された。 ○司会進行 山口副会長 議題 1. 令和4年度予算・事業計画について 1) 事業計画について ①中規模木造に関する講習会 50人規模、年2回程開催 防耐火、構造、建材の分野で講師を招き実施。 ②各事務所若手向けの木造建築物の基本講座 30人規模、年3～4回開催 Web講習会とし、2回目以降は録画したものを使用する。 ③耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 30人規模、年1～2回開催 実務的な講習、ソフト入力時の適切な理解を促す。 ④伝統的構法講習会 30人規模、年1回程開催 ⑤各種見学会の開催 工事進行度合いによって、随時開催。 『各種研究等』・『木造建築物のサポート窓口の創設』について、今後検討する事とした。 2) 予算について 1) の事業計画に沿って、予算（案）を総財務委員会へ提出する事となった。（12月15日締切） また、基本的には講習会等で運営にあたる委員からは、受講料等は徴収しない方向で進めることとなった。 2. 今年度の事業について 山中委員長に確認し、限界耐力計算についての web 講習開催を検討する事となった。 3. 12月11日（土）開催 本禅寺本堂見学会について ・現在の申込者数：27名（申込予定者含む） ・資料：厚木市が作成した資料を当日配布する。当日欠席者には PDF にし送付する事となった。 ・写真撮影：撮影及び SNS 等への掲載も可能との確認済。 ・ビデオ撮影：撮影は可能だが、説明者や説明の音声が入るのは NG となった。 →当日ビデオ撮影は行い、今後活用方法等を検討する事となった。 ・ヘルメット：内田委員に人数分準備していただく事となった。 ・当日のご案内：事務局でたたき台を作成し内田委員が確認作成、開催数日前に参加者へ送付する事となった。			

4. 今後の委員会開催日について

1) 次回開催日程について

1 月末～2 月上旬に開催する事とし、『調整さん』で調整する事となった。
時間については1 5 時からとする。(勤務時間内であれば事務局出席可能。(議事録作成))
基本的には参集開催とするが、web での出席も可能とする。

2) 来年度の委員会開催日程について

2 ヶ月に1 度開催する事とし、開催月・週・曜日を定める事となった。
時間については1 5 時からとする。

以上

令和 3・4 年度 第 3 回 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和4年1月31日（月）	会 場	Web 会議
------	--------------	-----	--------

出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐) 副会長：○大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ×赤川真理 ×小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美
------------	--

○司會進行 山中委員長

議題

1. 3月4日（金）開催『伝統的構法による住まいの造り方』等講習会（web）について
 - ・講師：山中委員長
 - ・挨拶：山口副会長
 - ・内容：石場建ての設計法・限界耐力計算の簡易設計法等。
昨年夏完成した石場建ての建築物（昨年講習会・見学会実施）の完成までを解説。
限界耐力計算方法については、数回受講しただけでは理解し難い為、継続開催している。
 - ・現在の申込者数 15名（会員4名 会員外11名）
 - ・受講者の方へ事前に、JSCA関西のマニュアルをダウンロードし目を通していただくようメールをする事となった。
2. 12月11日（土）開催 本禅寺本堂見学会の反省等
 - ・実施報告書より、参加者（28名）が想定（25名）よりも多く、収支差額も予算より上回っていた事が報告された。
 - ・説明者（設計者）の音声がかえにくかったとの意見があり、次回以降開催の際は事前の音声チェックを行う事となった。
 - ・完成後も見たいとの意見があった事から、完成後の見学会も開催する事となった。（6月末～7月前半）
 - ・内田委員・厚木市・設計事務所に大変ご尽力いただいた。今後は予算的にも人員も委員会として更に動けるようにしていきたいとの話しがあった。
 - ・当日撮ったビデオについて、設計者の説明音声を入れなければ配信等可能の確認がとれている。（内田委員）。動画に内田委員の説明音声を入れ、会員限定のアーカイブ公開等の有効活用を今後検討する事となった。
3. 令和4年度の事業について
 - 1) 中大規模木造に関する講習会
中大規模の防耐火・木造施設等への対応設計法等、会員に対しての情報提供。
公共建物の木造化推進の他に、民間のある程度の規模の建物についても、木造化する法改正に向かっている。
2回開催する講習の内1回は、防耐火について経験豊富な安井昇先生に講師を依頼する事を予定。
他にナイス（会員）の大規模の構造と施工について、PWA（中大規模木造プレカット技術協会）稲山先生の講習等を検討する事とした。
 - 2) 木造建築物の基本講座
仕様規定の確認講座（所員向け）、失敗学（コンテンツあり）の講座。
 - 3) 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座
すまいる診太郎（一般向けのフリーソフト）・ホームズ君使用時の注意事項・知っておかなければならない事等について、堀池委員に講師をご担当いただく事となった。
 - 4) 伝統的構法講習会

限界耐力計算法は数回受講しただけでは理解し難く、定期的を開催する必要がある為、来年度も1回開催する事とした。

5) 見学会

2回開催する内1回は、上記の本禅寺本堂改修工事完成見学会とする。
もう1回は今後検討する事となった。

⇒大まかなスケジュールを山中委員長が作成する事となった。

4. 4号特例廃止等 建築基準法改正について

法改正に関して資料をもとに説明がされた。

また、多くの会員が関わっている木造に係る法改正についての講習会を、開催する方向で検討する事となった。

5. 今後の委員会開催日について（確認）

令和4年

- ・ 2月21日（月） ・ 4月18日（月） ・ 6月20日（月）
- ・ 8月22日（月） ・ 10月17日（月） ・ 12月19日（月）

令和5年

- ・ 2月20日（月）

※各日 15:00 ～ 17:00（予定）

6. (神事協) (仮称) 会員サポートセンターの設立等について

令和4年秋頃スタート予定で進んでいる(仮称) 会員サポートセンターについての説明が両副会長よりあった。

業務支援委員会より依頼があった「神事協 講習会年間スケジュール」については、令和4年度予算に計上している講習会の他、上記の建築基準法改正講習会も記載し提出する事とした。

また、木造専門委員会から提案するコンテンツも検討し、担当委員会（業務支援委員会・広報情報委員会）へ発信していく事となった。

7. その他

委員の増員を検討する事となった。

次回委員会 令和4年2月21日（月）15:00 ～ 17:00

以上

令和 3 ・ 4 年度 第 4 回 （一社）神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和4年2月21日（月）	会 場	Web 会議
------	--------------	-----	--------

出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐) 副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ×赤川真理 ×小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美
------------	---

○司會進行 山中委員長

議題

1. 令和4年度の事業について（予定）
 - 1) 木造建築物の基本講座（1）4号建築物特例縮小に向けて仕様規定を正確に知る
講師：山中委員長
日程：5月19日（木）13：30～16：00
 - 2) 文化財建造物保全修理工事（本禅寺本堂完成間際）見学会
講師：内田委員
日程：6月24日（金）
 - 3) 木造建築物の基本講座（2）2020改正建築士法に対応した図書作成
講師：山中委員長
日程：7月21日（木）
 - 4) 木造建築物の基本講座（3）小規模木造の一步進んだ構造検討（演習付き）
講師：山中委員長
日程：9月中旬
 - 5) 進化する都市木造の防耐火設計（仮）防耐火設計の最新情報を知る
講師：未定
日程：10月中旬
 - 6) 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 調査の見方・診断の注意点（仮）
講師：堀池委員
日程：11月中旬
 - 7) 限界耐力計算補修設計の見学会 材木座公会堂（仮）
講師：高野委員
日程：8月頃
 - 8) 伝統的構法の設計法（仮）限界耐力計算を採用した利活用事例
講師：山中委員長
日程：3月上旬
 - 9) 中規模木造建築物建築物の設計法（仮）
講師：未定
日程：2月頃
2. 3月4日（金）開催『伝統的構法による住まいの造り方』等講習会について
現在の受講申し込み者数が、29名（内5名会員・会員外24名）との報告がされた。
委員で受講希望の方は事務局まで連絡する事となった。
3. 本禅寺本堂完成間際見学会について
日時：6月24日（金）15：15～16：45
講師（説明）：内田委員
資料等：前回見学会時に撮影した動画等を編集し保存修理工事の流れの動画を作成し、
定公開。受講申し込み者に限定公開 URL 送付し事前資料とする。（動画作成担当）

会費：会員 2,000円 会員外3,000円（事前資料動画付き）

開催案内：(案)を事務局で作成し、委員にメールで送付し確認いただく。

4. 会報誌編集特別委員会依頼 委員会活動報告（12月11日見学会）寄稿について
相馬委員が担当する事となった。また、6月24日に開催する完成間際見学会についても記載する事となった。
見学会の寄稿について、委員以外の立場から書いていただくのもいいのではないかとの意見が出た。
5. その他
- ・建築基準法改正の講習会について
改正日程等を考慮し今後開催について検討する。
賛助会の確認検査機関（4社）に協力依頼を行う。
 - ・委員増員について
中大規模木造関係の委員を増員する方向で進めることとなった。
 - ・告示690号の取り扱い等が各指定機関によって違う。今後、神奈川県内の指定機関の取り扱いの有無や方法の一覧を作成し、会員向けに神事協HPに掲載する事を検討していきたい。
⇒次回委員会（4/18）に賛助会確認検査機関4社にオブザーバー出席を依頼する。

○山口副会長 挨拶

次回委員会 令和4年4月18日（月） 15:00 ～ 17:00

以上

開催日時	令和4年4月18日(月)	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐) 副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ○赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 オブザーバー：○日本 ERI (株) 寺越健太郎 (議題1のみ参加) 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<報告>

- ・講習会等における講師以外の委員参加者の受講料の取り扱いについて、基本的に運営に係る委員の受講料は徴収しないとの事が山中委員長より報告された。

また、山口副会長より4月15日に開催された正副会長会及び統括委員長会で、『講習会によって扱いはケースバイケースとなる為、受講料の取り扱いについては委員会に委ねる』との事を各委員会で共通認識を持つため、再確認したとの報告があった。

<議題>

1. 告示690号当の各確認検査機関取り扱い方法及び建築基準法改正について

1) オブザーバー出席いただいた日本 ERI (株) 寺越氏と、伝統的構法の確認申請において4号申請の審査の実情について、意見交換を行った。

申請の為事前に問い合わせると、4号の為図書の提出は求めませんとの回答があるが、実際審査となると図書を求められる等、審査期間が不用意に伸びてしまう事が起きている。確認検査機関で対応を揃えていただければ、審査がスムーズに進み双方にとって良いことなのではないか。

→ERIの対応方法をまとめ、賛助会確認検査機関4社で検討していく事は可能と考える。(寺越氏)

2) 建築基準法改正について

4月中にも閣議決定する予定となっている。詳細が分かり次第、資料等を送付するとの話が寺越氏よりあった。

建築基準法改正の講習会開催を予定している。その際は賛助会確認検査機関にご協力いただきたいとの話があり、寺越氏に了承いただいた。

また、建築基準法を所管している神奈川県建築指導課にも、講習会開催の際には講師をお願いしたいとの話を機会を見てする事となった。

2. 6月24日(金)開催 本禅寺本堂完成間際 見学会について

- ・現段階の申込者数が10名であると、事務局より報告された。
- ・5月号会報に開催案内を同封・再会員メーリング・前回見学会に参加された方へのメールをし再度周知する事となった。
- ・内田委員に『完成までの道のり』動画を作成いただき、限定 YouTube へアップし参加申し込み者へ事前に URL を送付する事となった。
- ・『当日のご案内』(案)を事務局で作成し、内田委員が確認後、参加者へ事前に送付する事となった。

3. 今後の講習会等の開催について

1) 木造建築物の基本講座(1) 4号建築物特例縮小に向けて仕様規定を正確に知る

講師：山中委員長

日程：5月19日(木) 13:30 ~ 16:00

→開催案内(案)を山中委員長が作成し(4/22)、委員にメールで送付・確認後、5月号会報同封・HP掲載・メーリングにて周知を行う。

2) 文化財建造物保全修理工事(本禅寺本堂完成間際) 見学会

講師：内田委員

日程：6月24日（金）15：15 ～ 16：45

3) 木造建築物の基本講座（2）2020 改正建築士法に対応した図書作成

講師：山中委員長

日程：7月21日（木）

5月19日の講習会の際に案内できるよう、開催案内を作成する事となった。

4) 木造建築物の基本講座（3）小規模木造の一步進んだ構造検討（演習付き）

講師：山中委員長

日程：9月中旬

5) 進化する都市木造の防耐火設計（仮）防耐火設計の最新情報を知る

担当委員：赤川委員

講師：安井昇先生に依頼する事となった。（赤川委員）

日程：10月中旬

6) 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 調査の見方・診断の注意点（仮）

講師：堀池委員

日程：11月中旬

7) 限界耐力計算補修設計の見学会 材木座公会堂（仮）

講師：高野委員

日程：8月頃（6月着工の為、日程はずれ込む予定）

8) 伝統的構法の設計法（仮）限界耐力計算を採用した利活用事例

講師：山中委員長

日程：3月上旬

9) 中規模木造建築物建築物の設計法（仮）

講師：未定

日程：2月頃

4. その他

- ・新委員にナイス（株）の方にお声がけしている。横浜支部長にも了承いただき、委員派遣依頼を会社宛に出している段階との報告があった。
- ・神事協では『入会金・会費6ヶ月無料キャンペーン』を行っている。興味のある方がいれば案内してほしいとの話が山口副会長よりあった。
- ・講習会年間スケジュールがHPにアップされている。他の委員会の内容・スケジュール等の確認や申し込みもリンクされている。ご活用いただければとの話しが山口副会長よりあった。

次回委員会 令和4年6月20日（月）15：00 ～ 16：30 Web

以上

令和3・4年度 第6回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和4年6月20日（月）	会 場	Web 会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 委員：×千賀浩一 ×堀池恒史 ×赤川真理 ×小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 オブザーバー：○「住・緑・家」運営特別委員長 渡邊靖 ○日本 ERI（株）寺越健太郎 事務局：○小林恵美		
○司会進行 山中委員長			
＜議題＞			
1. 神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）からの協力依頼について オブザーバー参加の渡邊「住・緑・家」運営特別委員長より、事前に提出された資料を基に県木連との意見交換会への対応について説明された。 『①中規模木造建築物の構造計算に関して②アカネ材（虫害材）の普及方法について③県産木材（杉の床材や内装材）について④4号特例の縮小化等、最近の動向について』等についての意見交換会を行いたいとの県木連からの依頼に対し、「住・緑・家」運営委員会と共に木造専門委員会からも出席頂きたいとの事。 →木造専門委員会から山中委員長が出席する事となった。 また、意見交換会出席の際の交通費について、従前から「住・緑・家」運営委員会では支払われている事が確認され、今回も会より支出される事を確認した。			
2. 4号特例に縮小に関して確認検査機関との連携について オブザーバー参加の日本 ERI（株）寺越氏より、資料『2022/6/17 公布「改正建築物省エネ法及び改正建築基準法」の概要』を基に内容について説明がされた。 また、改正についての講習会等開催する際には賛助会確認検査機関に、ご協力いただく事が確認された。			
3. 6月24日（金）開催 本禅寺本堂完成間際 見学会について 1）現時点での申込者は32名である事が報告され、数名であれば追加受付可能である事が確認された。 2）事前説明動画を申込者に送付された事が報告された。また、事前動画作成に関して内田委員へ当日の講師料とは別に謝礼金を支払う事が確認された。 3）見学会に参加する委員の集合時間は14時45分とし、駐車場案内等を行う事となった。 4）事前説明動画に今回の見学会及び完成までの動画を加えた新たな動画を内田委員に作成いただく事となった。 視聴料を前回見学会（12/11）及び今回見学会の参加者 1,000 円、会員 2,000 円、会員外 3,000 円とし YouTube 限定公開 URL を配布する事となった。 →企画書を 7/15 理事会（7/7 総財務委員会）へ提出する事となった。			
4. 会報誌編集特別委員会依頼 委員会活動報告（6月24日見学会）寄稿について 相馬委員が担当する事となった。 また、講習会・見学会等に会報誌編集特別委員が参加し、取材執筆する事も続けて提案する事となった。			
5. 7月21日（木）開催 木造建築物の基本講座（2）講習会について 現時点での申込者は24名（会員18名、会員外6名）である事が報告された。 再周知（会員メーリング・会員外メーリング）を行う事となった。			
6. 新規委員の承認 横浜支部より、ナイス(株)田中英行氏が木造専門委員として推薦された。委員会として承認し、次回理事会（7/15）へ提出することとなった。 また、次年度以降は分担して事業を行っていく事を想定している為、委員の増員が必要。2～3名程度			

の増員についても併せて検討していくこととなった。

7. 今後の講習会等の開催について

- 1) 10月開催予定『進化する都市木造の防耐火設計（仮）防耐火設計の最新情報を知る』講習会
 - ・講師：安井昇氏（桜設計集団）赤川委員より内諾済み
 - ・会場とwebの併用講習会とし、50名会場・50名web募集とする。
 - ・安井先生のご都合に合わせ、50人規模の会場を手配する事となった。（第1希望10/31）
※横浜市技能文化会館 10月分は7月1日～抽選申込み開始
 - ・講演内容に希望があれば、事前に安井先生に伝える事となった。
（2年以内施行 既存不適格に対する現行法の遡及合理化について等）
- 2) 「木造建築物の基本講座（3）」について
 - ・講師：山中委員長
 - ・開催日は9月22日（木）午後に決まった。（web講習会）
 - ・内容は、陥ると怖い特殊な事例等となった。
- 3) 11月開催予定『耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 調査の見方・診断の注意点（仮）』講習会
 - ・講師：堀池委員
 - ・企画書を7月末までに堀池委員にご作成いただく事となった。
→事務局より開催日及び開催方法等確認する事となった。
- 4) 限界耐力計算補修設計の見学会 材木座公会堂（6月7日着工）
工程を考慮し12月～1月頃に開催する事となった。（予定）

8. 講習会動画（録画）利用について

- 1) 県西支部より依頼 5月19日開催『木造建築物の基本講座（1）』追加開催（録画配信）について
受講者は支部会員限定とし、メディアで録画動画を貸し出し支部のzoomアカウントを使用する。
→開催が承認され、実施企画書（講習会追加開催）を作成し総財務委員長へ提出する事となった。
また、今後も支部等から要望があった場合は、コンテンツ提供の方向で行っていく事となった。
- 2) 著作権・権利関係の明確化について
著作権は製作者（講師）にある事を明確化する事によって、製作者及び会の為にもなる為、段階的に進めていく事となった。
→今後は使用範囲を明記した利用同意書を製作者からもらう事となった。
フォーマットを山中委員長が作成する事となった。

9. 『木造建築物の基本講座（1）』講習会 実施報告について

受講者は、会員34名、会員外14名の合計48名（予算計上30名）だった事が報告された。
総財務委員長へ提出した実施報告書を、メールで委員に送付する事となった。

10. 統括委員長会 報告

6月10日に開催された（拡大）統括委員長会の報告が山中委員長よりあった。
（仮称）サポートセンター設立に向けて、今後委員会として協力する必要がある。
また、4号特例廃止・縮小について徹底的にフォローし、会員が理解をした上で実務を行う体制作りをしなければならないと会長からも話があったことから、来年度も引き続き、木造の基本講座と省エネ法改正についても行う事が確認された。
（仮称）サポートセンターのコンテンツにもなる為、会員ページに載っている木造関係資料（特記仕様書等）の整理を今後進めていきたいと考えている。

11. その他

今後は、委員会内で研究・勉強会も行っていく事が確認された。

次回委員会 令和4年8月22日（月）15：00～ 神事協会議室（参集）
※委員会後 懇親会開催

令和3・4年度 第7回 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和４年８月２２日（月）１５：００～１６：００	会　場	Web会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：○大和田優 委　員　長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 委　　　員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ○田中英行 ○赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

〈議題〉

1. 新規委員の理事会承認報告及び紹介
 - ・ 7月15日理事会で、横浜支部 ナイス(株) 田中英行氏が木造専門委員に承認された事の報告があった。
 - ・ 田中委員より自己紹介が行われた。
 - 日頃より公共建築の木造化を提案している。木造の案件構造提案等協力させていただくとの話があった。
2. 神奈川県木材業協同組合連合会(県木連)との意見交換会報告
 - 山中委員長より、7月19日に行われた県木連との意見交換会の報告が議事録を基にされた。
3. 7月21日(木)開催 木造建築物の基本講座(2)講習会報告
 - 受講者は、会員32名、会員外12名の合計44名(予算計上30名)だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
4. 神奈川県内市町村 木造建築物 耐震診断及び改修補助について(支部長会より依頼)
 - 1) 各支部の木造建築物の耐震診断及び補強設計の費用等の調査について
 - 現在神事協 HP 会員ページに掲載されている平成22年12月に木造特別委員会が作成した表を、必要項目の検討・各支部へのアンケート等を行いブラッシュアップする事となった。
 - 担当：和田副委員長、内田委員
 - 2) 各市町村の補助費用(診断および補強設計及び工事費)の調査について
 - 県建築安全課が作成している「県内市町村における耐震診断・改修補助一覧(令和4年4月現在)」を、各支部長へメール送付し、修正や捕捉する事はないか確認する。(メール文(案)事務局作成)
 - 3) 耐震診断及び補強設計について、初心者へのアドバイス・指導方法、講習会開催の検討について
 - 2)のメールを送付する際、11月24日に開催する「耐震診断及び耐震補強設計の基本講座」の案内もする事となった。
5. 今後の講習会等の開催について
 - 1) 9/3 限界耐力計算による補強設計『材木座公会堂』現地講習会 (講師：高野委員)
 - ・参加する委員の集合時間は9:00とし、現地での手伝いをする事となった。
 - ・資料は事前に事務局に送付いただき事務局で印刷、当日参加者へ配布する事となった。
 - 2) 9/22 木造建築物の基本講座(3) (講師：山中委員長)
 - ・開催案内(案)を委員長が作成し、委員にメールで送付し確認後、9月号会報に同封する事となった。
 - 3) 10/20 進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る～講習会 (講師：安井昇氏)
 - ・Web講習だが参集できる委員の方は事務局で受講し、講習会後に講師と懇親会を行う事とした。
 - ・神事協会員以外にも公共施設に携わる多くの建築士事務所に受講いただきたい講習内容の為、他団体にも周知依頼を行う。現在、建築士会とYSK(横浜市建築設計協同組合)に周知依頼を行ったとの報告がされ、他に周知した方がよい団体等があれば周知依頼を行う事となった。
 - 川崎市木材利用促進フォーラムにも周知依頼をする事となった。(赤川委員・事務局)
 - 4) 11/24 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 (講師：堀池委員)
 - ・堀池委員にご作成いただいた企画書で進めることとなった。
 - ・予算計上では、受講対象は会員のみとなっていたが、会員外も対象とする事となった。

会員外の受講料は5,000円とする。

- ・開催案内（たたき台）を事務局で作成、委員にメールで送付、修正・加筆後、周知を開始する。

6. 文化財建造物保存修理工事（本禅寺本堂）完成までの道のり動画配信について

- ・7月15日の理事会に実施企画書を上程し承認された事が報告された。
- ・6/24見学会参加者に配布した事前説明動画と6/24見学会時の動画を内田委員に送付し編集後、追加説明部分を事務局内で撮影し配信動画を作成する事となった。

7. その他

- 1) メールで情報提供された、川崎市木材利用促進フォーラム主催 浜松木材の現地見学ツアー（川崎市・浜松市連携事業）について赤川委員より説明された。
- 2) 8月26日に行われる県との意見交換会（正副会長出席）が開催される。県に伝えたい事等があれば出してほしいと話がされた。
議題4-2)の「県内市町村における耐震診断・改修補助一覧（令和4年4月現在）」を活用する為、神奈川県HP掲載ページを神事協HP会員ページにリンクしてよいか、また不足部分等は神事協からも情報提供する旨を山口副会長から確認する事とした。
- 3) 次回委員会で次年度の予算企画計画の検討をする必要がある。次年度事業計画について意見等を出す事となった。

<報告>

8月19日に開催された（拡大）統括委員長会の報告が山中委員長よりあった。

（仮称）会員サポートセンター設立に向けて動き始めている。内容的にはまだ決まっておらず、方向性が少し見えてきている状態であると感じた。今後委員会として協力する必要があるものについては協力していく。

○閉会挨拶 大和田副会長

今後開催される県木連との意見交換会には、「住・緑・家」特別委員会では人数制限等は行わず、出られる委員は皆出る事になった。木造専門委員会でも参加できる方は是非参加してほしいとの話があった。

また、国交省より各省庁へ出された2023年度営繕計画書に対する技術的見地からの意見書(8/19公表)で、木材利用の促進を求めている。今後ますます木材使用への需要が増えてくる為、木造専門委員会の活動が期待される。委員の方に活躍をお願いしたいとの話があった。

次回委員会 令和4年10月17日（月）15:00～16:30

以上

開催日時	令和4年10月17日(月) 15:00~16:30	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐)副会長：○大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ×田中英行 ○赤川真理 ○小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<議題>

- 9月3日(土)開催 限界耐力計算による補強設計実地研修『材木座公会堂』報告
受講者は、会員10名、会員外3名の合計13名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
- 9月22日(木)開催 木造建築物の基本講座(3)講習会報告
受講者は、会員25名、会員外4名の合計29名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
- 神奈川県内市町村 木造建築物 耐震診断及び改修補助について(支部長会依頼)
各支部に確認・修正いただいた、県建築安全課作成の『1. 耐震診断補助表』『2. 耐震改修補助表』が提出され、内容について確認された。
返信いただいていない支部には、再度依頼する事となった。
また、修正した結果は、支部長会へ提出する事となった。
- 今後の講習会等の開催について
 - 10/20 「進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る～」講習会 講師：安井昇氏
現在の申込者数は32名。
最終告知文を山中委員長が作成し、会員メーリングで再周知を行う事となった。
zoomウェビナー後のアンケートを行う事となり、アンケート内容を山中委員長が作成する事となった。
開会挨拶：山中委員長、閉会挨拶：山口副会長が担当し、次第を事務局で作成する事となった。
 - 11/24「耐震診断及び補強設計の基本講座」 講師：堀池委員
現在の申込者数は27名。
受講者へは11/22に資料送付する事とし、間に合うように資料を事務局に送付いただく事となった。
 - 「伝統的構法の設計法(仮) 限界耐力計算を採用した利活用実例」講習会
開催日程が、令和5年3月14日(火)午後(web講習会)に決まった。
講師は、山中委員長と内田委員(実例)に決まった。
 - 「中大規模木造建築物の設計法(仮)」講習会又は見学会
令和5年2月頃開催する事となった。
担当は田中委員に依頼し進めていただくこととなった。
受講者(参加)人数は30名を予定。
 - 文化財建造物保存修理工事(本禅寺本堂)完成までの道のり動画配信について 担当：内田委員
年内公開を目指し、動画作成を進めることとなった。
- 令和5年度 事業計画及び予算策定について
 - 担当について
中大規模木造建築物： 田中委員、千賀委員

基本講座： 山中委員長
耐震診断・改修： 堀池委員、高野委員
伝統構法： 内田委員、小林委員
資料作成（ブラッシュアップ）： 和田副委員長、赤川委員、相馬委員

2) 事業計画について

講習会開催数は、今年度より少なめに計画する。
現在、保存修理工事を行っている『材木座光明寺』 改修工事見学会を予算計上する。
平成 12 年耐震基準の扱いについては、基本講座の中で説明する事となった。

3) 予算（案）作成について

策定依頼（11/18 予定）が来てから、提出（12/14）まで委員会開催がないことから、委員長が（案）を作成し、委員にメールで送付し確認いただく事となった。

6. その他

1) 講習会等周知について

会員だけではなく、所員である若い人達にも周知される方法を検討していきたい。若い人たちの受講（参加）が目先ではなく長い目で見ると会員増強になっていくと考えるとの話があった。
→10/21 統括委員長会で、青年部会運営委員会に所員向けコンテンツ作成を要望することで会自体の広がりを見せるので要望及び提案をしてみてもいいか？大和田副会長より提案があった。
→提案することとした。

2) 神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）との意見交換会について

（「住・緑・家」運営特別委員会依頼）
10/26 に山中委員長と渡邊「住・緑・家」運営特別委員長と参加するとの報告があった。

3) 来年度に向けて、木造専門委員会が特別委員会になる話がすすんでいるとの報告が大和田副会長よりあった。

次回委員会 令和 4 年 12 月 19 日（月）15：00 ～ 16：30 参集（web 併用）
※委員会後 忘年会開催

以上

開催日時	令和4年12月19日(月) 15:00~16:30	会 場	神事協会議室・Web 併用
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (w) (補佐) 副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 (w) 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 (w) ×田中英行 ×赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ×内田幸夫 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<議題>

- 10月20日(木)開催「進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る」講習会報告
 受講者は会員36名、会員外6名の合計42名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
 アンケート回答より、参考になった等大変好評であった。また再配信等の要望も多くあった。

⇒従前より講習会録画配信等の要望があることから、著作権の確保、安全性の確保等に配慮し、また免責事項や配信期間を決め、コピー禁止とし、全講習会に関して来年度以降録画配信する方向で進めることとなった。

- 11月24日(木)開催「耐震診断及び耐震補強設計の基本講座」報告
 受講者は会員42名、会員外7名の合計49名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
 アンケート回答より、基本事項の見直しになったとの意見等があり大変好評であった。実践講習(実技)の要望も多くあった。また、回答者数の約三分の一から協力を求めたいとの回答があった。
 ⇒2、3年後に法改正もある為、基本講座は継続する必要がある。来年度も同様の基本講座と要望の多い実践演習又は実地的な内容の講習を行う予定で進めることとなった。

3. 今後の講習会等の開催について

- 2月10日(金)開催「中大規模木造建築物の設計法(仮)」
 担当の田中委員と山中委員長で内容を検討し、委員にメールで送付し意見等を出すこととなった。
- 3月14日(火)開催「伝統的構法の設計法限界耐力を採用した利活用実例」講習会
 内田委員：文化財系の実例について
 山中委員長：JSCA 関西のマニュアルの内容・通常の耐震診断との違いについて等
 開催案内(案)を作成後、委員にメールで送付し確認することとなった。
- 「文化財建造物保存修理工事(本禅寺本堂)完成までの道のり動画配信」
 年内を目途に進んでいるとの報告があった。

4. 令和5年度事業計画及び予算について

総財務委員会に提出した令和5年度予算要求案を基に事業計画について説明された。

- 講習会、見学会について
 - ・木造建築物の基本講座(20名×2回)
 - ・耐震診断及び耐震補強設計の基本講座(20名)
 - ・耐震診断及び耐震補強設計の応用講座(20名)
 - ・中大規模木造に関する講習会(50名)
 - ・伝統的構法講習会(20名)
 - ・見学会(15名×2回)
- 調査・研究他
 委員会として必要な情報を集めるための予算
- (仮称)サポートセンターに関して

仕様書等調査作業費用として 10 人工×3 名で計上。

仕様書の改定について、講習会ウェビナーアンケートでは存在を知らなかったとの回答が多かったが、活用しているとの意見もあったことから続ける必要があるとの話があった。

5. 神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）との意見交換会報告

山中委員長より、10 月 26 日に行われた県木連との意見交換会の報告が議事録を基にされた。

次回意見交換会に高野委員も参加することとなった。また、他委員も参加を希望される方は申し出ることとなった。

6. 次年度委員会について

- ・現委員の方は次年度以降も委員を継続していただきたいとの話があった。
- ・委員を 2、3 名増員することとし、ブロック（支部）へ委員の依頼をする際に『環境意識の高い人』を推薦いただけるよう働きかけ、『女性の比率を高める』事も考慮することとなった。
- ・委員会開催日は、偶数月の第 3 木曜日となった。

令和 5 年度委員会開催日：令和 5 年 4 月 20 日（木）、6 月 15 日（木）、8 月 17 日（木）、10 月 19 日（木）、12 月 21 日（木）、令和 6 年 2 月 15 日（木） 各日 15：00～（予定）

次回委員会 令和 5 年 2 月 20 日（月）15：00 ～ 16：30

以上

開催日時	令和5年2月20日(月) 15:00~16:30	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長: ○山口雄 (補佐) 副会長: ×大和田優 委員長: ○山中信悟 副委員長: ×和田敏宏 委員: ○千賀浩一 ×堀池恒史 ○田中英行 ×赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ○内田幸夫 事務局: ○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<議題>

1. 今後の講習会等の開催について

1) 3月1日(水) 開催「中大規模木造建築物の設計法」講習会

講師: ナイスプレカット 木造テクニカルセンター 今泉隆之様、有賀康治様、石井昭彦様

ナイス株式会社 首都圏木材ブロック 青木良篤様

受講申込者が少ないことから、委員から声掛けを行うこととなった。

次第(たたき台)を事務局が作成委員長に送付、講師と内容を確認し作成することとなった。

2) 3月24日(火) 開催「伝統的構法の設計、伝統的建築の修復に関する実践例及び設計手法」講習会

講師: 山中委員長、内田委員

再案内メール文を山中委員長が作成し、3月2日以降にメール配信する事となった。

3) 文化財建造物保存修理工事(本禅寺本堂)完成までの道のり動画配信について

説明者: 内田委員

本日(2/20)午前中に動画撮影が行われた事が報告された。

事務局で動画編集を行い、配信期間を3月1日から3月31日とし進める事となった。

要望が多い場合は来年度に再配信・アーカイブを検討する事となった。

2. 令和5年度事業計画及び予算について

1) 予算について

・委員会から提出した委員会事業予算要求案は、減額なしで理事会に提出される予定。

・サポートセンターに係る予算については、各委員会からの要求額が400万円になり、神事協の負担分を50万円、日事連単位会組織強化事業へ申請している100万円の計150万円の予算となる。150万円の振分けが決まっていない事から、サポートセンターに係る事業については、当面は凍結し様子を見る事となった。

・神事協の財政状況が、近年非常に厳しいとの報告が山口担当副会長よりあった。

2) 事業について

・木造建築物の基本講座(web講習)を、①4月27日(木)・②5月23日(火)午後で開催する事となった。講師は山中委員長。

・耐震診断及び耐震補強設計についての講習会を、堀池委員と高野委員に担当いただき2回開催する。

3. 委員継続意思確認及び委員増員について

・現委員の方の委員継続意思を確認した。

・適任者に直接声掛け、また支部長へ直接働きかける方向で動く事となった。

4. その他

1) 2月21日に開催される県木連との意見交換会に山中委員長と高野委員が出席する事となっている。内容については後日報告するとの話があった。

2) 『木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準(案)の概要』(国交省)について、山中委員長より説明された。

埼玉県では県産材を何パーセントか使用等々で外皮計算を省く事ができる条例が協議会の働きかけで制定された。神奈川県でもそのような動きをしていく必要があるとの話があった。

次回委員会 令和5年4月20日（木）15：00 ～ 16：30 参集（web 併用）
※委員会後懇親会予定

以上

令和3・4年度 第1回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和3年10月18日(月)	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐)副会長：×大和田優 担 当 理 事：○和田敏宏 委 員：○千賀浩一 ×堀池恒史 ○赤川真理 ×小林匠 ×相馬立夫 ×山中信悟 ×高野淳一 ○内田幸夫 事 務 局：○磯部崇 ○小林恵美		

○山口副会長より挨拶

○自己紹介

○議事録について
(今回担当：事務局 小林)

議題

1. 正副委員長の互選

委員長：山口副会長より打診する事となった。

(後日追記)→打診の結果、山中委員長に決まった。(委員にはメールで報告)

副委員長：和田理事に決まった。

他若干名は次回委員会で選任する事となった。

2. 今年度(今後)の活動について各自意見

- ・元伝統工法部会員が多い為、伝統工法に偏りがちだが、大型耐火木造も進めていかなくてはならない。
- ・以前やっていた、『今さら聞けないシリーズ』を復活させても面白いのではないかな。
- ・木造全般やるべき、木造委員会の使命だと思う。
- ・委員会内で部会別に活動していくのか等は今後検討していくが、伝統工法・耐火木造にこだわらず、やれるものからはどんどんやっていくべき。

⇒大型耐火木造系を主に新たな委員の募集をかける事となった。

3. 本禅寺本堂改修工事見学会について

- 1) 開催日時：令和3年12月11日(土) 15:00～ (時間については内田委員確認後決定)
- 2) 場所：厚木市飯山3515番地 本禅寺本堂
- 3) 説明者：株式会社文化財保存計画協会(設計者)・有限会社内田工務店 内田委員(施工者)
- 4) 予算等：本禅寺及び説明者への御礼を内田委員が確認後会費等を決め、変更企画書を事務局で作成し、総財務委員長へ提出する。
- 5) 開催案内：内田委員がたたき台を作成しメーリングリストにて委員へ送付し・加筆修正し作成する事となった。間に合えば11月号会報に同封する。
- 6) 撮影について：写真撮影は可能。(私的利用のみ)
当日動画を撮影し、後日説明を入れwebで流す等を検討していきたい事から、動画撮影が可能か、内田委員が確認する事となった。

4. 今後の委員会開催について

2ヶ月に1度、定期的開催する事となった。

次回開催日については、メーリングリストのテストをかねて、11月29日(月)か11月30日(火)で調整する事となった。

以上

令和3・4年度 第2回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和3年11月29日（月）	会 場	Web 会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：×大和田優 委員長：×山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：×千賀浩一 ×堀池恒史 ×赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		
○山口副会長より挨拶 山中委員長が選任された事について、全委員にメールで報告・了承済みだが、改めて報告された。 ○司会進行 山口副会長 議題 1. 令和4年度予算・事業計画について 1) 事業計画について ①中規模木造に関する講習会 50人規模、年2回程開催 防耐火、構造、建材の分野で講師を招き実施。 ②各事務所若手向けの木造建築物の基本講座 30人規模、年3～4回開催 Web講習会とし、2回目以降は録画したものを使用する。 ③耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 30人規模、年1～2回開催 実務的な講習、ソフト入力時の適切な理解を促す。 ④伝統的構法講習会 30人規模、年1回程開催 ⑤各種見学会の開催 工事進行度合いによって、随時開催。 『各種研究等』・『木造建築物のサポート窓口の創設』について、今後検討する事とした。 2) 予算について 1) の事業計画に沿って、予算（案）を総財務委員会へ提出する事となった。（12月15日締切） また、基本的には講習会等で運営にあたる委員からは、受講料等は徴収しない方向で進めることとなった。 2. 今年度の事業について 山中委員長に確認し、限界耐力計算についての web 講習開催を検討する事となった。 3. 12月11日（土）開催 本禅寺本堂見学会について ・現在の申込者数：27名（申込予定者含む） ・資料：厚木市が作成した資料を当日配布する。当日欠席者には PDF にし送付する事となった。 ・写真撮影：撮影及び SNS 等への掲載も可能との確認済。 ・ビデオ撮影：撮影は可能だが、説明者や説明の音声が入るのは NG となった。 →当日ビデオ撮影は行い、今後活用方法等を検討する事となった。 ・ヘルメット：内田委員に人数分準備していただく事となった。 ・当日のご案内：事務局でたたき台を作成し内田委員が確認作成、開催数日前に参加者へ送付する事となった。			

4. 今後の委員会開催日について

1) 次回開催日程について

1 月末～2 月上旬に開催する事とし、『調整さん』で調整する事となった。
時間については1 5 時からとする。(勤務時間内であれば事務局出席可能。(議事録作成))
基本的には参集開催とするが、web での出席も可能とする。

2) 来年度の委員会開催日程について

2 ヶ月に1 度開催する事とし、開催月・週・曜日を定める事となった。
時間については1 5 時からとする。

以上

令和 3・4 年度 第 3 回 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和4年1月31日（月）	会 場	Web 会議
------	--------------	-----	--------

出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐) 副会長：○大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ×赤川真理 ×小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美
------------	--

○司會進行 山中委員長

議題

1. 3月4日（金）開催『伝統的構法による住まいの造り方』等講習会（web）について
 - ・講師：山中委員長
 - ・挨拶：山口副会長
 - ・内容：石場建ての設計法・限界耐力計算の簡易設計法等。
昨年夏完成した石場建ての建築物（昨年講習会・見学会実施）の完成までを解説。
限界耐力計算方法については、数回受講しただけでは理解し難い為、継続開催している。
 - ・現在の申込者数 15名（会員4名 会員外11名）
 - ・受講者の方へ事前に、JSCA関西のマニュアルをダウンロードし目を通していただくようメールをする事となった。
2. 12月11日（土）開催 本禅寺本堂見学会の反省等
 - ・実施報告書より、参加者（28名）が想定（25名）よりも多く、収支差額も予算より上回っていた事が報告された。
 - ・説明者（設計者）の音声がかえにくかったとの意見があり、次回以降開催の際は事前の音声チェックを行う事となった。
 - ・完成後も見たいとの意見があった事から、完成後の見学会も開催する事となった。（6月末～7月前半）
 - ・内田委員・厚木市・設計事務所に大変ご尽力いただいた。今後は予算的にも人員も委員会として更に動けるようにしていきたいとの話しがあった。
 - ・当日撮ったビデオについて、設計者の説明音声を入れなければ配信等可能の確認がとれている。（内田委員）。動画に内田委員の説明音声を入れ、会員限定のアーカイブ公開等の有効活用を今後検討する事となった。
3. 令和4年度の事業について
 - 1) 中大規模木造に関する講習会
中大規模の防耐火・木造施設等への対応設計法等、会員に対しての情報提供。
公共建物の木造化推進の他に、民間のある程度の規模の建物についても、木造化する法改正に向かっている。
2回開催する講習の内1回は、防耐火について経験豊富な安井昇先生に講師を依頼する事を予定。
他にナイス（会員）の大規模の構造と施工について、PWA（中大規模木造プレカット技術協会）稲山先生の講習等を検討する事とした。
 - 2) 木造建築物の基本講座
仕様規定の確認講座（所員向け）、失敗学（コンテンツあり）の講座。
 - 3) 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座
すまいる診太郎（一般向けのフリーソフト）・ホームズ君使用時の注意事項・知っておかなければならない事等について、堀池委員に講師をご担当いただく事となった。
 - 4) 伝統的構法講習会

限界耐力計算法は数回受講しただけでは理解し難く、定期的を開催する必要がある為、来年度も1回開催する事とした。

5) 見学会

2回開催する内1回は、上記の本禅寺本堂改修工事完成見学会とする。
もう1回は今後検討する事となった。

⇒大まかなスケジュールを山中委員長が作成する事となった。

4. 4号特例廃止等 建築基準法改正について

法改正に関して資料をもとに説明がされた。

また、多くの会員が関わっている木造に係る法改正についての講習会を、開催する方向で検討する事となった。

5. 今後の委員会開催日について（確認）

令和4年

- ・ 2月21日（月） ・ 4月18日（月） ・ 6月20日（月）
- ・ 8月22日（月） ・ 10月17日（月） ・ 12月19日（月）

令和5年

- ・ 2月20日（月）

※各日 15:00 ～ 17:00（予定）

6. (神事協) (仮称) 会員サポートセンターの設立等について

令和4年秋頃スタート予定で進んでいる(仮称) 会員サポートセンターについての説明が両副会長よりあった。

業務支援委員会より依頼があった「神事協 講習会年間スケジュール」については、令和4年度予算に計上している講習会の他、上記の建築基準法改正講習会も記載し提出する事とした。

また、木造専門委員会から提案するコンテンツも検討し、担当委員会（業務支援委員会・広報情報委員会）へ発信していく事となった。

7. その他

委員の増員を検討する事となった。

次回委員会 令和4年2月21日（月）15:00 ～ 17:00

以上

令和3・4年度 第4回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和4年2月21日（月）	会 場	Web 会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ×赤川真理 ×小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		
○司会進行 山中委員長			
議題			
1. 令和4年度の事業について（予定） 1）木造建築物の基本講座（1）4号建築物特例縮小に向けて仕様規定を正確に知る 講師：山中委員長 日程：5月19日（木）13：30 ～ 16：00 2）文化財建造物保全修理工事（本禅寺本堂完成間際）見学会 講師：内田委員 日程：6月24日（金） 3）木造建築物の基本講座（2）2020改正建築士法に対応した図書作成 講師：山中委員長 日程：7月21日（木） 4）木造建築物の基本講座（3）小規模木造の一步進んだ構造検討（演習付き） 講師：山中委員長 日程：9月中旬 5）進化する都市木造の防耐火設計（仮）防耐火設計の最新情報を知る 講師：未定 日程：10月中旬 6）耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 調査の見方・診断の注意点（仮） 講師：堀池委員 日程：11月中旬 7）限界耐力計算補修設計の見学会 材木座公会堂（仮） 講師：高野委員 日程：8月頃 8）伝統的構法の設計法（仮）限界耐力計算を採用した利活用実例 講師：山中委員長 日程：3月上旬 9）中規模木造建築物建築物の設計法（仮） 講師：未定 日程：2月頃			
2. 3月4日（金）開催『伝統的構法による住まいの造り方』等講習会について 現在の受講申し込み者数が、29名（内5名会員・会員外24名）との報告がされた。 委員で受講希望の方は事務局まで連絡する事となった。			
3. 本禅寺本堂完成間際見学会について 日時：6月24日（金）15：15 ～ 16：45 講師（説明）：内田委員 資料等：前回見学会時に撮影した動画等を編集し保存修理工事の流れの動画を作成し YouTube に限定公開。受講申し込み者に限定公開 URL 送付し事前資料とする。（動画作成担当：内田委員）			

会費：会員 2,000円 会員外3,000円（事前資料動画付き）

開催案内：(案)を事務局で作成し、委員にメールで送付し確認いただく。

4. 会報誌編集特別委員会依頼 委員会活動報告（12月11日見学会）寄稿について
相馬委員が担当する事となった。また、6月24日に開催する完成間際見学会についても記載する事となった。
見学会の寄稿について、委員以外の立場から書いていただくのもいいのではないかとの意見が出た。
5. その他
- ・建築基準法改正の講習会について
改正日程等を考慮し今後開催について検討する。
賛助会の確認検査機関（4社）に協力依頼を行う。
 - ・委員増員について
中大規模木造関係の委員を増員する方向で進めることとなった。
 - ・告示690号の取り扱い等が各指定機関によって違う。今後、神奈川県内の指定機関の取り扱いの有無や方法の一覧を作成し、会員向けに神事協HPに掲載する事を検討していきたい。
⇒次回委員会（4/18）に賛助会確認検査機関4社にオブザーバー出席を依頼する。

○山口副会長 挨拶

次回委員会 令和4年4月18日（月） 15:00 ～ 17:00

以上

開催日時	令和4年4月18日(月)	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐) 副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ○赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 オブザーバー：○日本 ERI (株) 寺越健太郎 (議題1のみ参加) 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<報告>

- ・講習会等における講師以外の委員参加者の受講料の取り扱いについて、基本的に運営に係る委員の受講料は徴収しないとの事が山中委員長より報告された。

また、山口副会長より4月15日に開催された正副会長会及び統括委員長会で、『講習会によって扱いはケースバイケースとなる為、受講料の取り扱いについては委員会に委ねる』との事を各委員会で共通認識を持つため、再確認したとの報告があった。

<議題>

1. 告示690号当の各確認検査機関取り扱い方法及び建築基準法改正について

1) オブザーバー出席いただいた日本 ERI (株) 寺越氏と、伝統的構法の確認申請において4号申請の審査の実情について、意見交換を行った。

申請の為事前に問い合わせると、4号の為図書の提出は求めませんとの回答があるが、実際審査となると図書を求められる等、審査期間が不用意に伸びてしまう事が起きている。確認検査機関で対応を揃えていただければ、審査がスムーズに進み双方にとって良いことなのではないか。

→ERIの対応方法をまとめ、賛助会確認検査機関4社で検討していく事は可能と考える。(寺越氏)

2) 建築基準法改正について

4月中にも閣議決定する予定となっている。詳細が分かり次第、資料等を送付するとの話が寺越氏よりあった。

建築基準法改正の講習会開催を予定している。その際は賛助会確認検査機関にご協力いただきたいとの話があり、寺越氏に了承いただいた。

また、建築基準法を所管している神奈川県建築指導課にも、講習会開催の際には講師をお願いしたいとの話を機会を見てする事となった。

2. 6月24日(金)開催 本禅寺本堂完成間際 見学会について

- ・現段階の申込者数が10名であると、事務局より報告された。
- ・5月号会報に開催案内を同封・再会員メーリング・前回見学会に参加された方へのメールをし再度周知する事となった。
- ・内田委員に『完成までの道のり』動画を作成いただき、限定 YouTube へアップし参加申し込み者へ事前に URL を送付する事となった。
- ・『当日のご案内』(案)を事務局で作成し、内田委員が確認後、参加者へ事前に送付する事となった。

3. 今後の講習会等の開催について

1) 木造建築物の基本講座(1) 4号建築物特例縮小に向けて仕様規定を正確に知る

講師：山中委員長

日程：5月19日(木) 13:30 ~ 16:00

→開催案内(案)を山中委員長が作成し(4/22)、委員にメールで送付・確認後、5月号会報同封・HP掲載・メーリングにて周知を行う。

2) 文化財建造物保全修理工事(本禅寺本堂完成間際) 見学会

講師：内田委員

日程：6月24日（金）15：15 ～ 16：45

3) 木造建築物の基本講座（2）2020 改正建築士法に対応した図書作成

講師：山中委員長

日程：7月21日（木）

5月19日の講習会の際に案内できるよう、開催案内を作成する事となった。

4) 木造建築物の基本講座（3）小規模木造の一步進んだ構造検討（演習付き）

講師：山中委員長

日程：9月中旬

5) 進化する都市木造の防耐火設計（仮）防耐火設計の最新情報を知る

担当委員：赤川委員

講師：安井昇先生に依頼する事となった。（赤川委員）

日程：10月中旬

6) 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 調査の見方・診断の注意点（仮）

講師：堀池委員

日程：11月中旬

7) 限界耐力計算補修設計の見学会 材木座公会堂（仮）

講師：高野委員

日程：8月頃（6月着工の為、日程はずれ込む予定）

8) 伝統的構法の設計法（仮）限界耐力計算を採用した利活用事例

講師：山中委員長

日程：3月上旬

9) 中規模木造建築物建築物の設計法（仮）

講師：未定

日程：2月頃

4. その他

- ・新委員にナイス（株）の方にお声がけしている。横浜支部長にも了承いただき、委員派遣依頼を会社宛に出している段階との報告があった。
- ・神事協では『入会金・会費6ヶ月無料キャンペーン』を行っている。興味のある方がいれば案内してほしいとの話が山口副会長よりあった。
- ・講習会年間スケジュールがHPにアップされている。他の委員会の内容・スケジュール等の確認や申し込みもリンクされている。ご活用いただければとの話しが山口副会長よりあった。

次回委員会 令和4年6月20日（月）15：00 ～ 16：30 Web

以上

令和3・4年度 第6回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和4年6月20日（月）	会 場	Web 会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 委員：×千賀浩一 ×堀池恒史 ×赤川真理 ×小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 オブザーバー：○「住・緑・家」運営特別委員長 渡邊靖 ○日本 ERI（株）寺越健太郎 事務局：○小林恵美		
○司会進行 山中委員長			
＜議題＞			
1. 神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）からの協力依頼について オブザーバー参加の渡邊「住・緑・家」運営特別委員長より、事前に提出された資料を基に県木連との意見交換会への対応について説明された。 『①中規模木造建築物の構造計算に関して②アカネ材（虫害材）の普及方法について③県産木材（杉の床材や内装材）について④4号特例の縮小化等、最近の動向について』等についての意見交換会を行いたいとの県木連からの依頼に対し、「住・緑・家」運営委員会と共に木造専門委員会からも出席頂きたいとの事。 →木造専門委員会から山中委員長が出席する事となった。 また、意見交換会出席の際の交通費について、従前から「住・緑・家」運営委員会では支払われている事が確認され、今回も会より支出される事を確認した。			
2. 4号特例に縮小に関して確認検査機関との連携について オブザーバー参加の日本 ERI（株）寺越氏より、資料『2022/6/17 公布「改正建築物省エネ法及び改正建築基準法」の概要』を基に内容について説明がされた。 また、改正についての講習会等開催する際には賛助会確認検査機関に、ご協力いただく事が確認された。			
3. 6月24日（金）開催 本禅寺本堂完成間際 見学会について 1）現時点での申込者は32名である事が報告され、数名であれば追加受付可能である事が確認された。 2）事前説明動画を申込者に送付された事が報告された。また、事前動画作成に関して内田委員へ当日の講師料とは別に謝礼金を支払う事が確認された。 3）見学会に参加する委員の集合時間は14時45分とし、駐車場案内等を行う事となった。 4）事前説明動画に今回の見学会及び完成までの動画を加えた新たな動画を内田委員に作成いただく事となった。 視聴料を前回見学会（12/11）及び今回見学会の参加者 1,000 円、会員 2,000 円、会員外 3,000 円とし YouTube 限定公開 URL を配布する事となった。 →企画書を 7/15 理事会（7/7 総財務委員会）へ提出する事となった。			
4. 会報誌編集特別委員会依頼 委員会活動報告（6月24日見学会）寄稿について 相馬委員が担当する事となった。 また、講習会・見学会等に会報誌編集特別委員が参加し、取材執筆する事も続けて提案する事となった。			
5. 7月21日（木）開催 木造建築物の基本講座（2）講習会について 現時点での申込者は24名（会員18名、会員外6名）である事が報告された。 再周知（会員メーリング・会員外メーリング）を行う事となった。			
6. 新規委員の承認 横浜支部より、ナイス(株)田中英行氏が木造専門委員として推薦された。委員会として承認し、次回理事会（7/15）へ提出することとなった。 また、次年度以降は分担して事業を行っていく事を想定している為、委員の増員が必要。2～3名程度			

の増員についても併せて検討していくこととなった。

7. 今後の講習会等の開催について

- 1) 10月開催予定『進化する都市木造の防耐火設計（仮）防耐火設計の最新情報を知る』講習会
 - ・講師：安井昇氏（桜設計集団）赤川委員より内諾済み
 - ・会場とwebの併用講習会とし、50名会場・50名web募集とする。
 - ・安井先生のご都合に合わせ、50人規模の会場を手配する事となった。（第1希望10/31）
※横浜市技能文化会館 10月分は7月1日～抽選申込み開始
 - ・講演内容に希望があれば、事前に安井先生に伝える事となった。
（2年以内施行 既存不適格に対する現行法の遡及合理化について等）
- 2) 「木造建築物の基本講座（3）」について
 - ・講師：山中委員長
 - ・開催日は9月22日（木）午後に決まった。（web講習会）
 - ・内容は、陥ると怖い特殊な事例等となった。
- 3) 11月開催予定『耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 調査の見方・診断の注意点（仮）』講習会
 - ・講師：堀池委員
 - ・企画書を7月末までに堀池委員にご作成いただく事となった。
→事務局より開催日及び開催方法等確認する事となった。
- 4) 限界耐力計算補修設計の見学会 材木座公会堂（6月7日着工）
工程を考慮し12月～1月頃に開催する事となった。（予定）

8. 講習会動画（録画）利用について

- 1) 県西支部より依頼 5月19日開催『木造建築物の基本講座（1）』追加開催（録画配信）について
受講者は支部会員限定とし、メディアで録画動画を貸し出し支部のzoomアカウントを使用する。
→開催が承認され、実施企画書（講習会追加開催）を作成し総財務委員長へ提出する事となった。
また、今後も支部等から要望があった場合は、コンテンツ提供の方向で行っていく事となった。
- 2) 著作権・権利関係の明確化について
著作権は製作者（講師）にある事を明確化する事によって、製作者及び会の為にもなる為、段階的に進めていく事となった。
→今後は使用範囲を明記した利用同意書を製作者からもらう事となった。
フォーマットを山中委員長が作成する事となった。

9. 『木造建築物の基本講座（1）』講習会 実施報告について

受講者は、会員34名、会員外14名の合計48名（予算計上30名）だった事が報告された。
総財務委員長へ提出した実施報告書を、メールで委員に送付する事となった。

10. 統括委員長会 報告

6月10日に開催された（拡大）統括委員長会の報告が山中委員長よりあった。
（仮称）サポートセンター設立に向けて、今後委員会として協力する必要がある。
また、4号特例廃止・縮小について徹底的にフォローし、会員が理解をした上で実務を行う体制作りをしなければならないと会長からも話があったことから、来年度も引き続き、木造の基本講座と省エネ法改正についても行う事が確認された。
（仮称）サポートセンターのコンテンツにもなる為、会員ページに載っている木造関係資料（特記仕様書等）の整理を今後進めていきたいと考えている。

11. その他

今後は、委員会内で研究・勉強会も行っていく事が確認された。

次回委員会 令和4年8月22日（月）15：00～ 神事協会議室（参集）
※委員会後 懇親会開催

令和3・4年度 第7回 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 木造専門委員会 議事録

開催日時	令和４年８月２２日（月）１５：００～１６：００	会　場	Web会議
出席者 （○）	担当副会長：○山口雄 （補佐）副会長：○大和田優 委　員　長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 委　　　員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ○田中英行 ○赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

〈議題〉

1. 新規委員の理事会承認報告及び紹介
 - ・ 7月15日理事会で、横浜支部 ナイス(株) 田中英行氏が木造専門委員に承認された事の報告があった。
 - ・ 田中委員より自己紹介が行われた。
 - 日頃より公共建築の木造化を提案している。木造の案件構造提案等協力させていただくとの話があった。
2. 神奈川県木材業協同組合連合会(県木連)との意見交換会報告
 - 山中委員長より、7月19日に行われた県木連との意見交換会の報告が議事録を基にされた。
3. 7月21日(木)開催 木造建築物の基本講座(2)講習会報告
 - 受講者は、会員32名、会員外12名の合計44名(予算計上30名)だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
4. 神奈川県内市町村 木造建築物 耐震診断及び改修補助について(支部長会より依頼)
 - 1) 各支部の木造建築物の耐震診断及び補強設計の費用等の調査について
 - 現在神事協 HP 会員ページに掲載されている平成22年12月に木造特別委員会が作成した表を、必要項目の検討・各支部へのアンケート等を行いブラッシュアップする事となった。
 - 担当：和田副委員長、内田委員
 - 2) 各市町村の補助費用(診断および補強設計及び工事費)の調査について
 - 県建築安全課が作成している「県内市町村における耐震診断・改修補助一覧(令和4年4月現在)」を、各支部長へメール送付し、修正や捕捉する事はないか確認する。(メール文(案)事務局作成)
 - 3) 耐震診断及び補強設計について、初心者へのアドバイス・指導方法、講習会開催の検討について
 - 2)のメールを送付する際、11月24日に開催する「耐震診断及び耐震補強設計の基本講座」の案内もする事となった。
5. 今後の講習会等の開催について
 - 1) 9/3 限界耐力計算による補強設計『材木座公会堂』現地講習会 (講師：高野委員)
 - ・参加する委員の集合時間は9:00とし、現地での手伝いをする事となった。
 - ・資料は事前に事務局に送付いただき事務局で印刷、当日参加者へ配布する事となった。
 - 2) 9/22 木造建築物の基本講座(3) (講師：山中委員長)
 - ・開催案内(案)を委員長が作成し、委員にメールで送付し確認後、9月号会報に同封する事となった。
 - 3) 10/20 進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る～講習会 (講師：安井昇氏)
 - ・Web講習だが参集できる委員の方は事務局で受講し、講習会後に講師と懇親会を行う事とした。
 - ・神事協会員以外にも公共施設に携わる多くの建築士事務所に受講いただきたい講習内容の為、他団体にも周知依頼を行う。現在、建築士会とYSK(横浜市建築設計協同組合)に周知依頼を行ったとの報告がされ、他に周知した方がよい団体等があれば周知依頼を行う事となった。
 - 川崎市木材利用促進フォーラムにも周知依頼をする事となった。(赤川委員・事務局)
 - 4) 11/24 耐震診断及び耐震補強設計の基本講座 (講師：堀池委員)
 - ・堀池委員にご作成いただいた企画書で進めることとなった。
 - ・予算計上では、受講対象は会員のみとなっていたが、会員外も対象とする事となった。

会員外の受講料は5,000円とする。

- ・開催案内（たたき台）を事務局で作成、委員にメールで送付、修正・加筆後、周知を開始する。

6. 文化財建造物保存修理工事（本禅寺本堂）完成までの道のり動画配信について

- ・7月15日の理事会に実施企画書を上程し承認された事が報告された。
- ・6/24見学会参加者に配布した事前説明動画と6/24見学会時の動画を内田委員に送付し編集後、追加説明部分を事務局内で撮影し配信動画を作成する事となった。

7. その他

- 1) メールで情報提供された、川崎市木材利用促進フォーラム主催 浜松木材の現地見学ツアー（川崎市・浜松市連携事業）について赤川委員より説明された。
- 2) 8月26日に行われる県との意見交換会（正副会長出席）が開催される。県に伝えたい事等があれば出してほしいと話がされた。
議題4-2)の「県内市町村における耐震診断・改修補助一覧（令和4年4月現在）」を活用する為、神奈川県HP掲載ページを神事協HP会員ページにリンクしてよいか、また不足部分等は神事協からも情報提供する旨を山口副会長から確認する事とした。
- 3) 次回委員会で次年度の予算企画計画の検討をする必要がある。次年度事業計画について意見等を出す事となった。

<報告>

8月19日に開催された（拡大）統括委員長会の報告が山中委員長よりあった。

（仮称）会員サポートセンター設立に向けて動き始めている。内容的にはまだ決まっておらず、方向性が少し見えてきている状態であると感じた。今後委員会として協力する必要があるものについては協力していく。

○閉会挨拶 大和田副会長

今後開催される県木連との意見交換会には、「住・緑・家」特別委員会では人数制限等は行わず、出られる委員は皆出る事になった。木造専門委員会でも参加できる方は是非参加してほしいとの話があった。

また、国交省より各省庁へ出された2023年度営繕計画書に対する技術的見地からの意見書(8/19公表)で、木材利用の促進を求めている。今後ますます木材使用への需要が増えてくる為、木造専門委員会の活動が期待される。委員の方に活躍をお願いしたいとの話があった。

次回委員会 令和4年10月17日（月）15:00～16:30

以上

開催日時	令和4年10月17日(月) 15:00~16:30	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (補佐) 副会長：○大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：×和田敏宏 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 ×田中英行 ○赤川真理 ○小林匠 ○相馬立夫 ×高野淳一 ○内田幸夫 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<議題>

- 9月3日(土)開催 限界耐力計算による補強設計実地研修『材木座公会堂』報告
受講者は、会員10名、会員外3名の合計13名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
- 9月22日(木)開催 木造建築物の基本講座(3)講習会報告
受講者は、会員25名、会員外4名の合計29名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
- 神奈川県内市町村 木造建築物 耐震診断及び改修補助について(支部長会依頼)
各支部に確認・修正いただいた、県建築安全課作成の『1. 耐震診断補助表』『2. 耐震改修補助表』が提出され、内容について確認された。
返信いただいていない支部には、再度依頼する事となった。
また、修正した結果は、支部長会へ提出する事となった。
- 今後の講習会等の開催について
 - 10/20 「進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る～」講習会 講師：安井昇氏
現在の申込者数は32名。
最終告知文を山中委員長が作成し、会員メーリングで再周知を行う事となった。
zoomウェビナー後のアンケートを行う事となり、アンケート内容を山中委員長が作成する事となった。
開会挨拶：山中委員長、閉会挨拶：山口副会長が担当し、次第を事務局で作成する事となった。
 - 11/24「耐震診断及び補強設計の基本講座」 講師：堀池委員
現在の申込者数は27名。
受講者へは11/22に資料送付する事とし、間に合うように資料を事務局に送付いただく事となった。
 - 「伝統的構法の設計法(仮) 限界耐力計算を採用した利活用実例」講習会
開催日程が、令和5年3月14日(火)午後(web講習会)に決まった。
講師は、山中委員長と内田委員(実例)に決まった。
 - 「中大規模木造建築物の設計法(仮)」講習会又は見学会
令和5年2月頃開催する事となった。
担当は田中委員に依頼し進めていただくこととなった。
受講者(参加)人数は30名を予定。
 - 文化財建造物保存修理工事(本禅寺本堂)完成までの道のり動画配信について 担当：内田委員
年内公開を目指し、動画作成を進めることとなった。
- 令和5年度 事業計画及び予算策定について
 - 担当について
中大規模木造建築物： 田中委員、千賀委員

基本講座： 山中委員長
耐震診断・改修： 堀池委員、高野委員
伝統構法： 内田委員、小林委員
資料作成（ブラッシュアップ）： 和田副委員長、赤川委員、相馬委員

2) 事業計画について

講習会開催数は、今年度より少なめに計画する。
現在、保存修理工事を行っている『材木座光明寺』 改修工事見学会を予算計上する。
平成 12 年耐震基準の扱いについては、基本講座の中で説明する事となった。

3) 予算（案）作成について

策定依頼（11/18 予定）が来てから、提出（12/14）まで委員会開催がない事から、委員長が（案）を作成し、委員にメールで送付し確認いただく事となった。

6. その他

1) 講習会等周知について

会員だけではなく、所員である若い人達にも周知される方法を検討していきたい。若い人たちの受講（参加）が目先ではなく長い目で見ると会員増強になっていくと考えるとの話があった。
→10/21 統括委員長会で、青年部会運営委員会に所員向けコンテンツ作成を要望することで会自体の広がりを見せるので要望及び提案をしてみてもいいか？大和田副会長より提案があった。
→提案することとした。

2) 神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）との意見交換会について
（「住・緑・家」運営特別委員会依頼）

10/26 に山中委員長と渡邊「住・緑・家」運営特別委員長と参加するとの報告があった。

3) 来年度に向けて、木造専門委員会が特別委員会になる話がすすんでいるとの報告が大和田副会長よりあった。

次回委員会 令和 4 年 12 月 19 日（月）15 : 00 ～ 16 : 30 参集（web 併用）
※委員会後 忘年会開催

以上

開催日時	令和4年12月19日(月) 15:00~16:30	会 場	神事協会議室・Web 併用
出席者 (○)	担当副会長：○山口雄 (w) (補佐) 副会長：×大和田優 委員長：○山中信悟 副委員長：○和田敏宏 (w) 委員：○千賀浩一 ○堀池恒史 (w) ×田中英行 ×赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ×内田幸夫 事務局：○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<議題>

- 10月20日(木)開催「進化する都市木造の世界～防耐火設計の最新情報を知る」講習会報告
 受講者は会員36名、会員外6名の合計42名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
 アンケート回答より、参考になった等大変好評であった。また再配信等の要望も多くあった。

⇒従前より講習会録画配信等の要望があることから、著作権の確保、安全性の確保等に配慮し、また免責事項や配信期間を決め、コピー禁止とし、全講習会に関して来年度以降録画配信する方向で進めることとなった。

- 11月24日(木)開催「耐震診断及び耐震補強設計の基本講座」報告
 受講者は会員42名、会員外7名の合計49名だった事、総財務委員長へ実施報告書を提出した事が報告された。
 アンケート回答より、基本事項の見直しになったとの意見等があり大変好評であった。実践講習(実技)の要望も多くあった。また、回答者数の約三分の一から協力を求めたいとの回答があった。
 ⇒2、3年後に法改正もある為、基本講座は継続する必要がある。来年度も同様の基本講座と要望の多い実践演習又は実地的な内容の講習を行う予定で進めることとなった。

3. 今後の講習会等の開催について

- 2月10日(金)開催「中大規模木造建築物の設計法(仮)」
 担当の田中委員と山中委員長で内容を検討し、委員にメールで送付し意見等を出すこととなった。
- 3月14日(火)開催「伝統的構法の設計法限界耐力を採用した利活用実例」講習会
 内田委員：文化財系の実例について
 山中委員長：JSCA 関西のマニュアルの内容・通常の耐震診断との違いについて等
 開催案内(案)を作成後、委員にメールで送付し確認することとなった。
- 「文化財建造物保存修理工事(本禅寺本堂)完成までの道のり動画配信」
 年内を目途に進んでいるとの報告があった。

4. 令和5年度事業計画及び予算について

総財務委員会に提出した令和5年度予算要求案を基に事業計画について説明された。

- 講習会、見学会について
 - ・木造建築物の基本講座(20名×2回)
 - ・耐震診断及び耐震補強設計の基本講座(20名)
 - ・耐震診断及び耐震補強設計の応用講座(20名)
 - ・中大規模木造に関する講習会(50名)
 - ・伝統的構法講習会(20名)
 - ・見学会(15名×2回)
- 調査・研究他
 委員会として必要な情報を集めるための予算
- (仮称)サポートセンターに関して

仕様書等調査作業費用として 10 人工×3 名で計上。

仕様書の改定について、講習会ウェビナーアンケートでは存在を知らなかったとの回答が多かったが、活用しているとの意見もあったことから続ける必要があるとの話があった。

5. 神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）との意見交換会報告

山中委員長より、10 月 26 日に行われた県木連との意見交換会の報告が議事録を基にされた。

次回意見交換会に高野委員も参加することとなった。また、他委員も参加を希望される方は申し出ることとなった。

6. 次年度委員会について

- ・現委員の方は次年度以降も委員を継続していただきたいとの話があった。
- ・委員を 2、3 名増員することとし、ブロック（支部）へ委員の依頼をする際に『環境意識の高い人』を推薦いただけるよう働きかけ、『女性の比率を高める』事も考慮することとなった。
- ・委員会開催日は、偶数月の第 3 木曜日となった。

令和 5 年度委員会開催日：令和 5 年 4 月 20 日（木）、6 月 15 日（木）、8 月 17 日（木）、10 月 19 日（木）、12 月 21 日（木）、令和 6 年 2 月 15 日（木） 各日 15：00～（予定）

次回委員会 令和 5 年 2 月 20 日（月）15：00 ～ 16：30

以上

開催日時	令和5年2月20日(月) 15:00~16:30	会 場	Web 会議
出席者 (○)	担当副会長: ○山口雄 (補佐) 副会長: ×大和田優 委員長: ○山中信悟 副委員長: ×和田敏宏 委員: ○千賀浩一 ×堀池恒史 ○田中英行 ×赤川真理 ○小林匠 ×相馬立夫 ○高野淳一 ○内田幸夫 事務局: ○小林恵美		

○司会進行 山中委員長

<議題>

1. 今後の講習会等の開催について

1) 3月1日(水) 開催「中大規模木造建築物の設計法」講習会

講師: ナイスプレカット 木造テクニカルセンター 今泉隆之様、有賀康治様、石井昭彦様

ナイス株式会社 首都圏木材ブロック 青木良篤様

受講申込者が少ないことから、委員から声掛けを行うこととなった。

次第(たたき台)を事務局が作成委員長に送付、講師と内容を確認し作成することとなった。

2) 3月24日(火) 開催「伝統的構法の設計、伝統的建築の修復に関する実践例及び設計手法」講習会

講師: 山中委員長、内田委員

再案内メール文を山中委員長が作成し、3月2日以降にメール配信する事となった。

3) 文化財建造物保存修理工事(本禅寺本堂)完成までの道のり動画配信について

説明者: 内田委員

本日(2/20)午前中に動画撮影が行われた事が報告された。

事務局で動画編集を行い、配信期間を3月1日から3月31日とし進める事となった。

要望が多い場合は来年度に再配信・アーカイブを検討する事となった。

2. 令和5年度事業計画及び予算について

1) 予算について

・委員会から提出した委員会事業予算要求案は、減額なしで理事会に提出される予定。

・サポートセンターに係る予算については、各委員会からの要求額が400万円になり、神事協の負担分を50万円、日事連単位会組織強化事業へ申請している100万円の計150万円の予算となる。150万円の振分けが決まっていない事から、サポートセンターに係る事業については、当面は凍結し様子を見る事となった。

・神事協の財政状況が、近年非常に厳しいとの報告が山口担当副会長よりあった。

2) 事業について

・木造建築物の基本講座(web講習)を、①4月27日(木)・②5月23日(火)午後で開催する事となった。講師は山中委員長。

・耐震診断及び耐震補強設計についての講習会を、堀池委員と高野委員に担当いただき2回開催する。

3. 委員継続意思確認及び委員増員について

・現委員の方の委員継続意思を確認した。

・適任者に直接声掛け、また支部長へ直接働きかける方向で動く事となった。

4. その他

1) 2月21日に開催される県木連との意見交換会に山中委員長と高野委員が出席する事となっている。内容については後日報告するとの話があった。

2) 『木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準(案)の概要』(国交省)について、山中委員長より説明された。

埼玉県では県産材を何パーセントか使用等々で外皮計算を省く事ができる条例が協議会の働きかけで制定された。神奈川県でもそのような動きをしていく必要があるとの話があった。

次回委員会 令和5年4月20日（木）15：00 ～ 16：30 参集（web 併用）
※委員会後懇親会予定

以上